



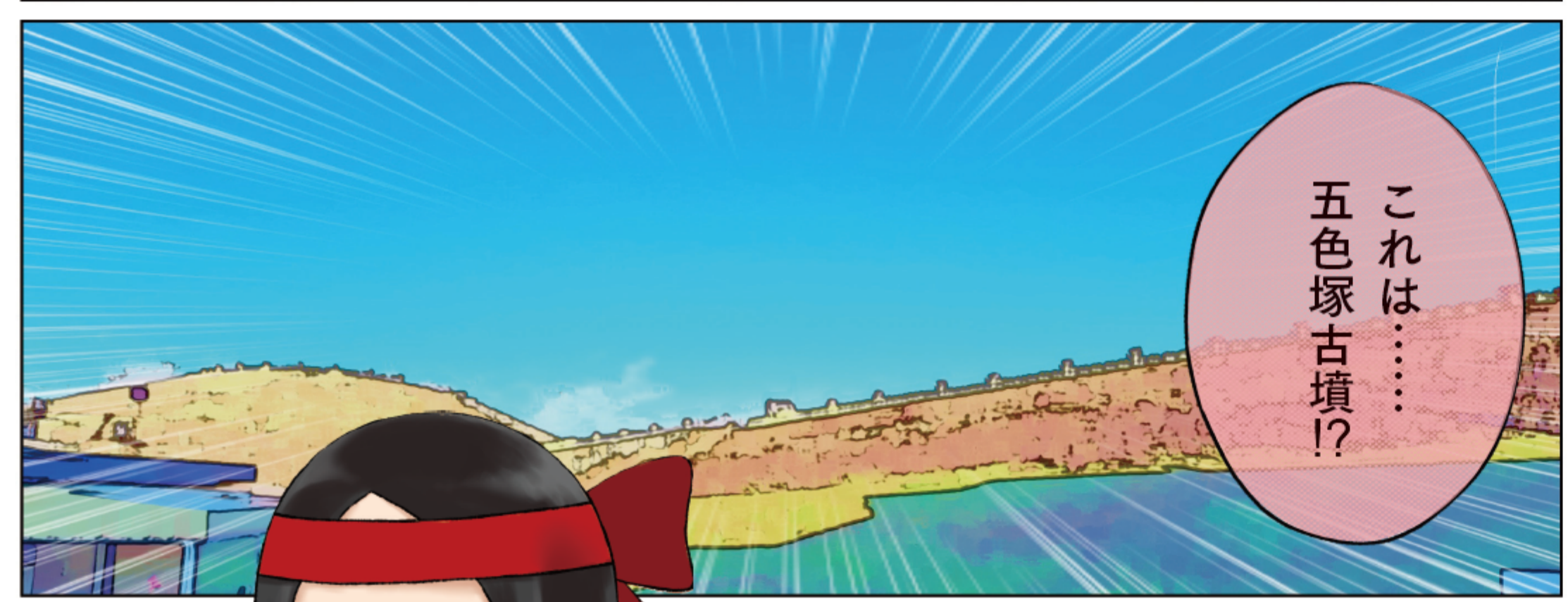
おしえてる！
ごしきまる！



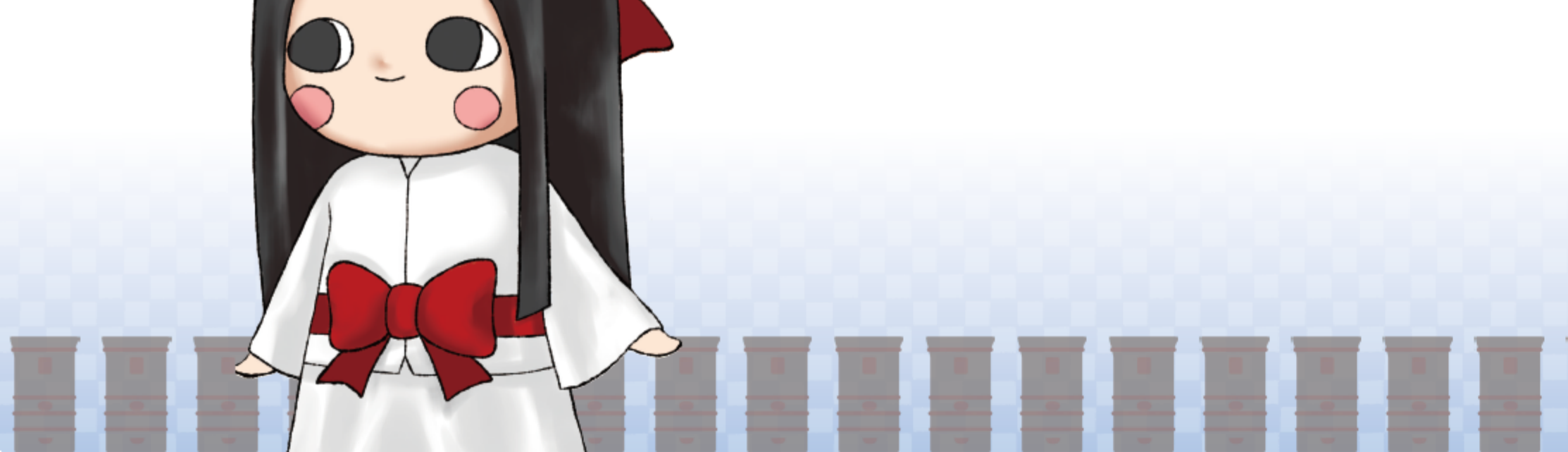
木の实をとっていたはずなのに……

あれ？

ここは一体どこ？



これは……
五色塚古墳！？



もうひとつの古墳？

小壘古墳は五色塚古墳の隣にある直径70mの巨大な円墳です。五色塚古墳と同時代に造られ、当時は2段構造で、墳丘とテラスには五色塚古墳と同様に埴輪が並べられていましたが、斜面に埴輪はなかったことがわかっています。



キャラクター紹介

ごしきまる

5世紀頃に五色塚古墳周辺で暮らしていたが、突如現代にワープしてきた。2012年にたるみ観光大使としてデビューし、垂水区のさまざまなイベントで活躍中。

〈好物〉いかなご
〈特技〉和歌を詠むこと



たるみこ

ごしきまると同じく、過去からワープしてきた古代の女の子。これからごしきまると一緒に垂水を盛り上げたいと意気込んでいる。

〈好物〉しらす
〈特技〉勾玉づくり



古墳から見る風景

古墳には誰でも上ることができず。古墳の上からは、垂水の街並みが一望でき、すぐそばを山陽電車が走ります。淡路島や明石海峡大橋が見渡せる海の眺めも絶景！



アクセス



【発行】垂水区総務部地域協働課 【協力】神戸市文化スポーツ局文化財課
【制作】神戸芸術工科大学 (デザイン) 片山未空 (表紙デザイン・作監) 克尾愛 (キャラクターデザイン・演出) 松永実佳、(古墳撮影) 矢野里美 (デザイン協力) 大西希奈、北田響音、長谷田伊呂、岡田陽花、佐藤昌希、佐野あずさ、大毛あゆみ、藤本羽来、永嶋由佳、高橋輝

2024年10月発行

垂水に残る ミステリアス。 謎めいた五色塚古墳へ！

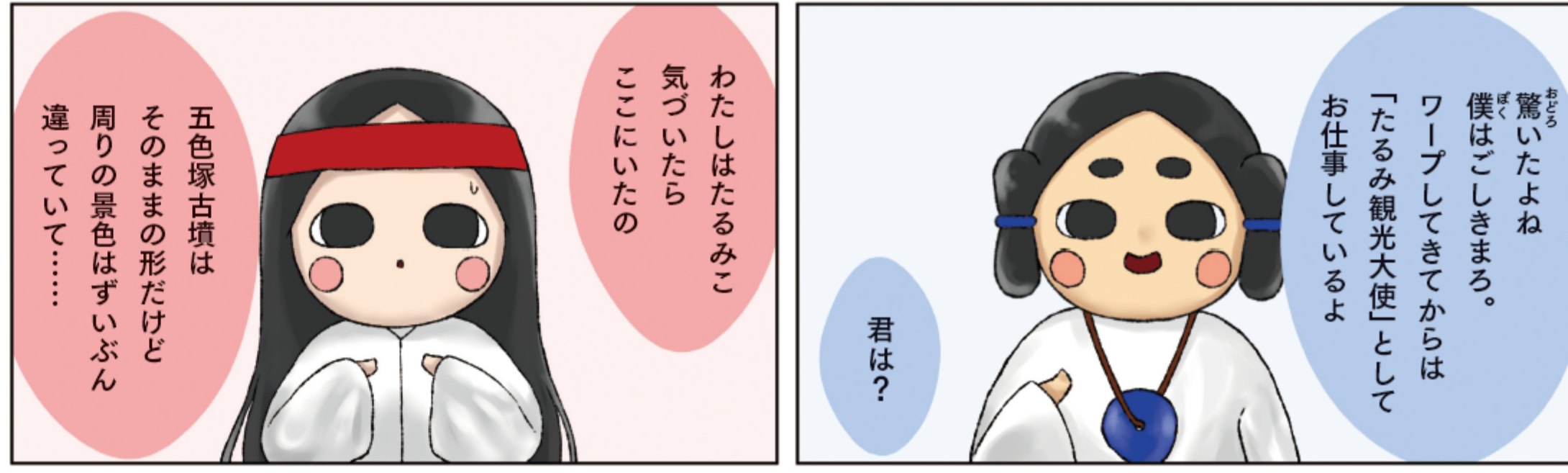


4世紀後半に築かれた五色塚古墳は、淡路島を望む台地の上にある兵庫県で最も大きい前方後円墳です。なぜこの垂水の地に巨大な古墳が築かれたのでしょうか。いったい誰が葬られているのでしょうか。古墳の上から一望できる雄大な風景を眺めながら、ぜひ思いの想像を巡らせてみてください。



もしかして過去からワープしてきたの？
ここは僕たちが暮らしていたときから遙か先の時代なんだ

古墳→飛鳥→奈良→平安→鎌倉
→室町→安土桃山→江戸
→明治→大正
→昭和→平成
→令和



ええー！
とこであなたは……？

五色塚古墳はそのままの形だけど周りの景色はずいぶん違って……

わたしはたるみこ
気づいたらここにいたの

君は？

驚いたよね
僕はごしきまる。
ワープしてきたからは「たるみ観光大使」としてお仕事しているよ

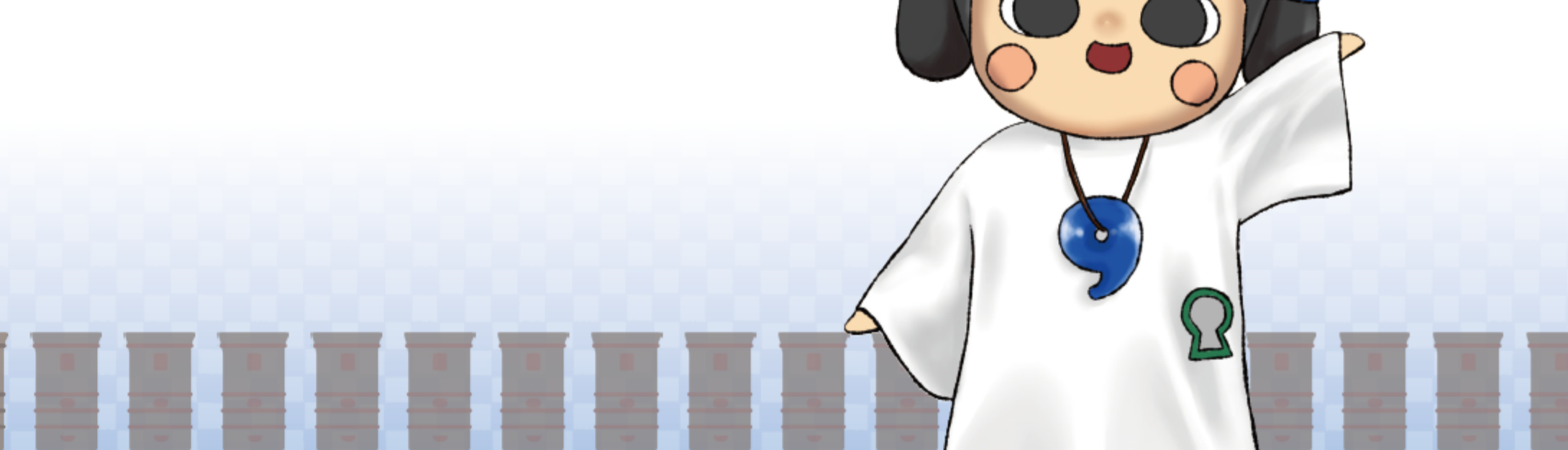


いいの！
知りたい！

よし！
じゃあ一緒に見てみよう！

時代が変わって
いるからね

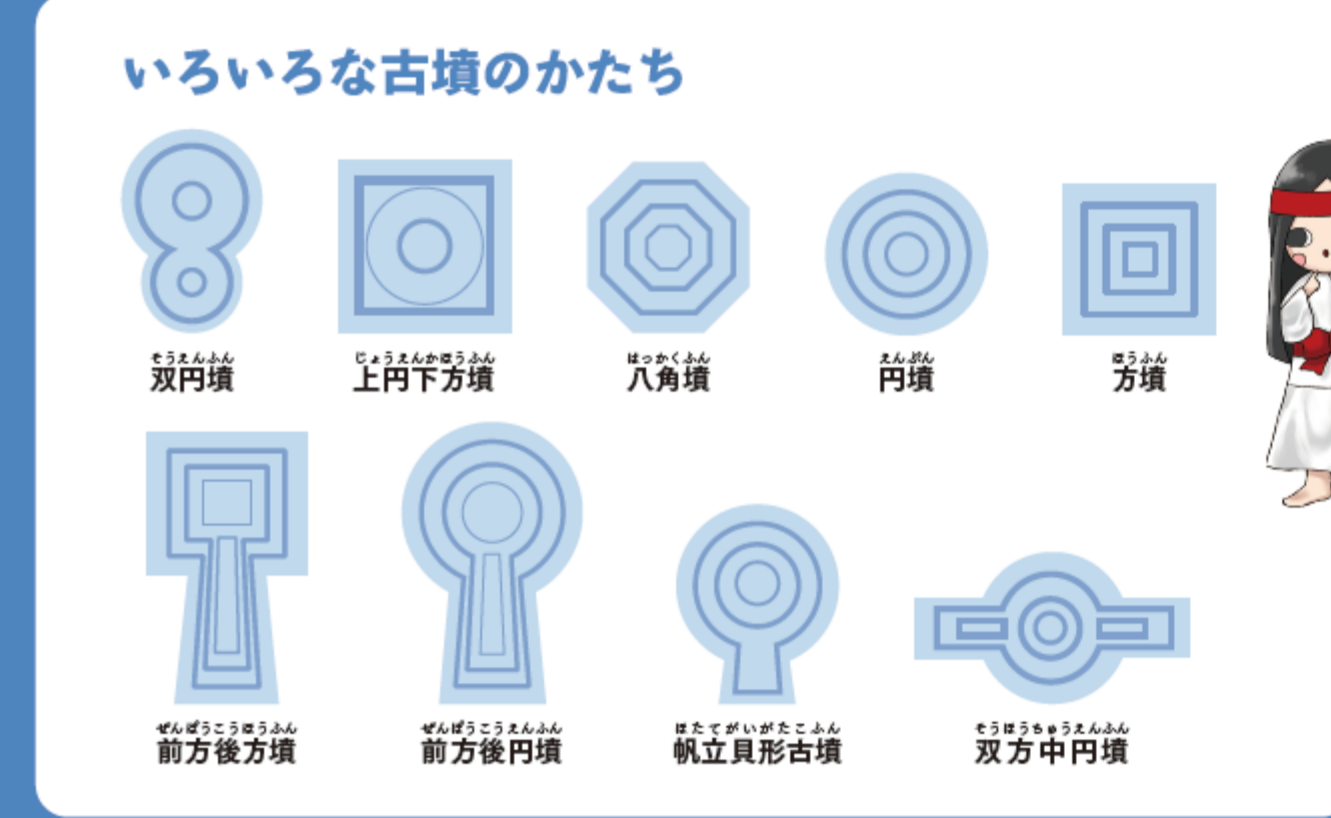
せっかくだから僕たちの時代からある五色塚古墳のこと
もっと知りたくない？



Tsurumi
神戸・垂水

1 そもそも、古墳ってなんだろう？

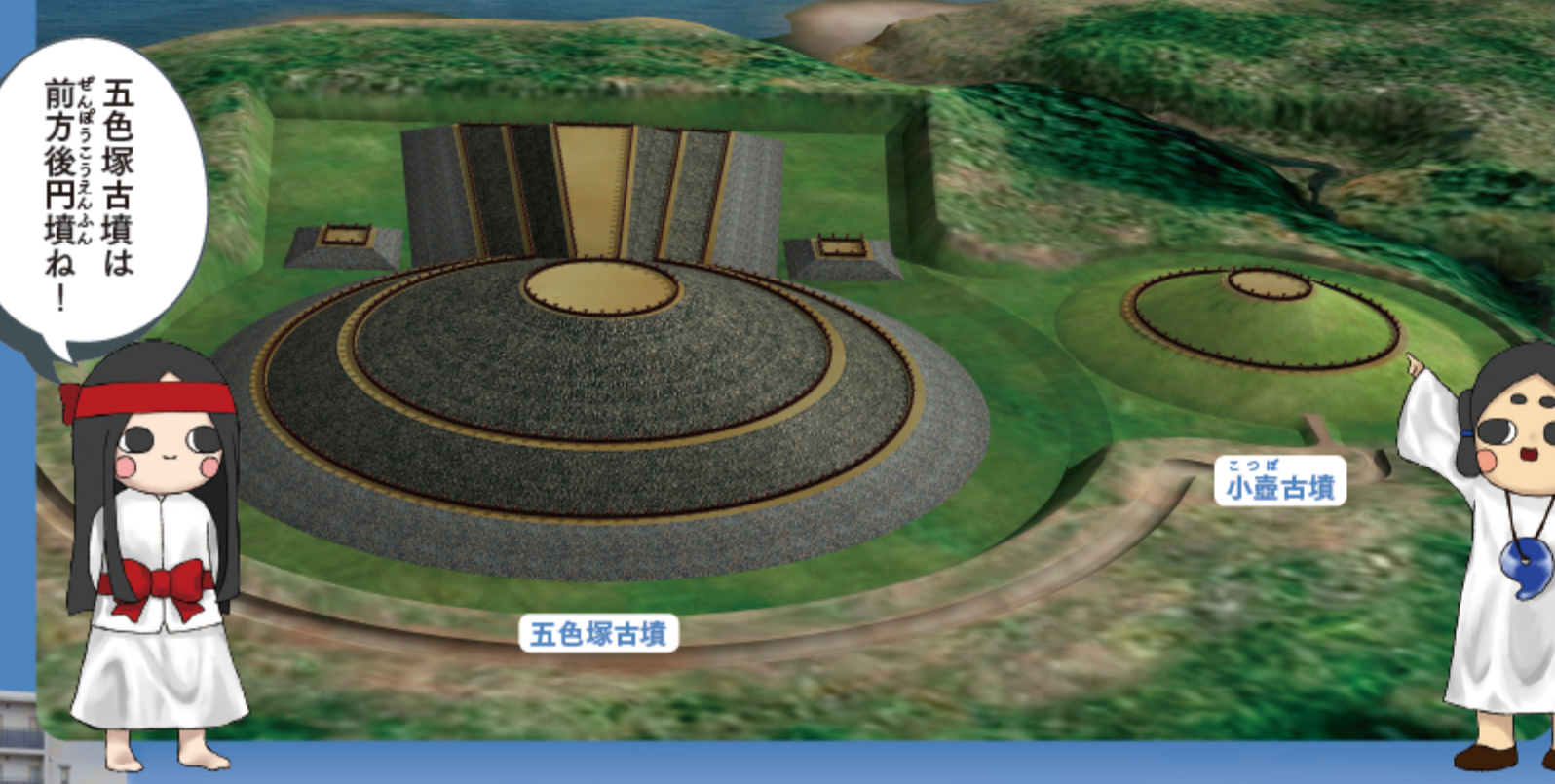
大きな権力を持った人などが葬られたお墓で、3世紀後半から7世紀頃までに造られたものを「古墳」といいます。中でも最も力を持った人物が眠っているのが「前方後円墳」です。



いろいろな形があるのね！

古墳は全国で約16万基あるんだよ！

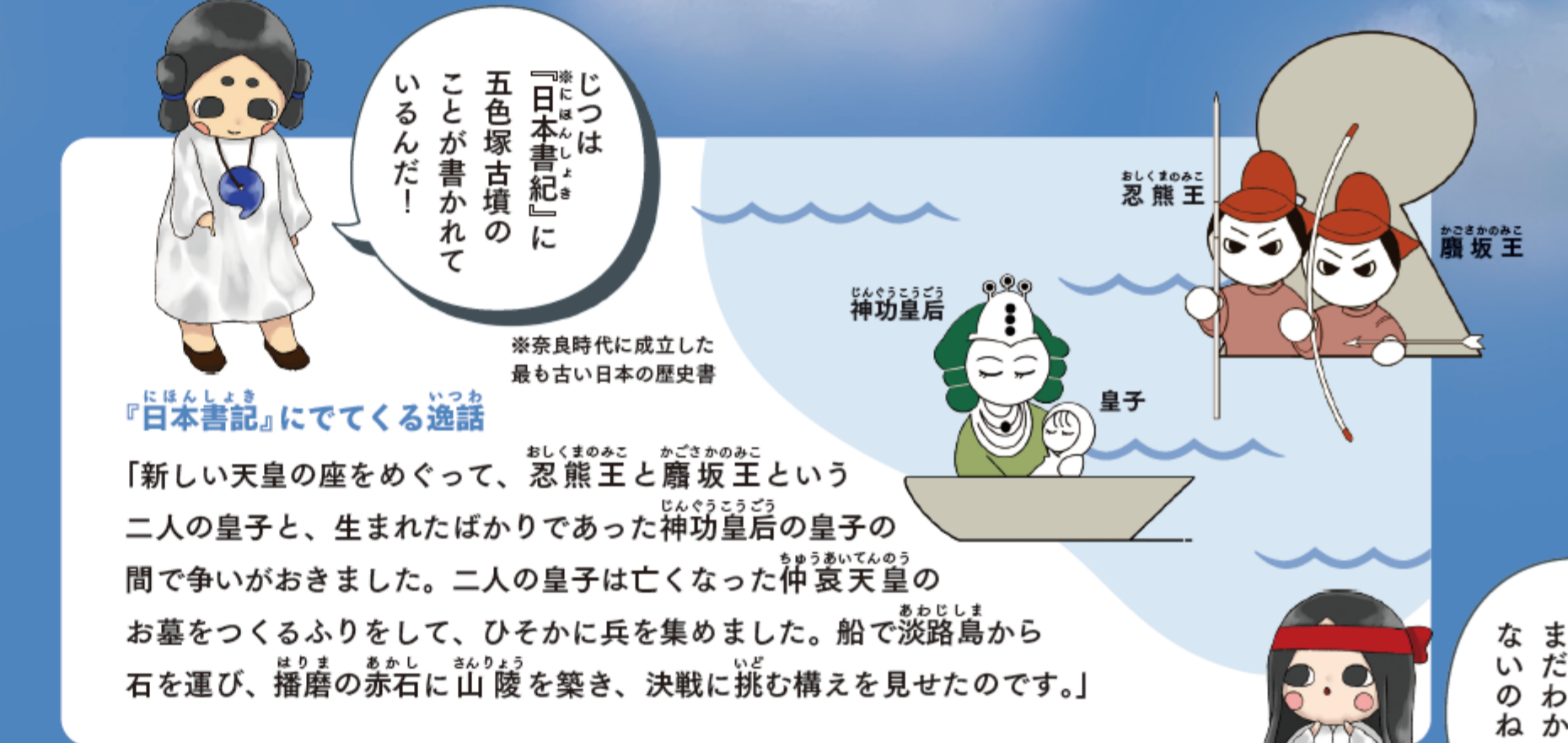
当時の五色塚古墳は、すぐそばまで海がせまり、多くの船や人がその前を行き来していました。五色塚古墳が造られた時代において、全国でトップ5に入る大きさであったことから、明石海峡やその周辺を支配し、ヤマト王権(当時の日本の政治的中心)と深い関わりがあった有力者が眠っていると考えられています。



五色塚古墳は前方後円墳だね！

兵庫県にある約1万9000基の古墳の中でいちばん大きいんだ！

2 五色塚古墳にはどんな歴史があるの？



『日本書紀』に五色塚古墳のことが書かれているんだ！

※奈良時代に成立した最も古い日本の歴史書『日本書紀』にてくる逸話「新しい天皇の座をめぐる、忍熊王と麿坂王という二人の皇子と、生まれたばかりであった神功皇后の皇子の間で争いがありました。二人の皇子は亡くなった仲哀天皇のお墓をつくるふりをして、ひそかに兵を集めました。船で淡路島から石を運び、播磨の赤石に山陵を築き、決戦に挑む構えを見せたのです。」

眠ってあ、誰がまだわかってないのね

この「赤石(明石)の山陵」は五色塚古墳だと考えられていて、仲哀天皇の「偽物の墓」とされています。ですが、亡くなった人が眠る石室を作るための材料が見つかることや、副葬品(お供え物)のかけらが見つかることから、考古学的に「偽物の墓」とは考えにくいのです。また、実際の墓石を分析してみると、淡路島から石を運んできたことも本当だとわかっています。

全国に数多くある古墳のうち、『日本書紀』に登場する古墳はほとんどありません。当時の人々にとって、大きなインパクトを与えた古墳だったのかもしれない。



ほかに、江戸時代には五色塚古墳を描いた絵図も残っているよ

その頃から人々の関心を集めていたのね！

1921年には、「五色塚(千疊)古墳 小壘古墳」として、国指定史跡となりました。

3 こうはい 荒廃する古墳、よみがえる古墳



第二次世界大戦の後、いっせいに荒れてしまったんだ！

戦後に日本全国で物資が乏しくなるなか、古墳を覆っていた樹木は船の材料や薪として伐採され、食糧難のため古墳の中に畑がつくられました。さらに、周辺では住宅の建設も進み、古墳をとりまく環境は大きく変わっていきました。



そこで、復元整備が行われることになったんだ！

全国でも類を見ない一大プロジェクトとして1965年にスタートした発掘調査と復元工事は、10年にも及びました。1975年8月8日に史跡公園として開園して、2024年で復元整備から50年目を迎えました。

復元整備は地域のみんなの協力もあって実現したのね！

4 いま、そしてこれからの五色塚古墳



こうして復活した五色塚古墳は全長194メートルもあるんだ！

古墳の各段には埴輪がびっしりと並べられていて、その数は推定2,200本！(現在の古墳では、埴輪の埴輪列のみを再現) 斜面(埴丘)は圧倒的な数の埴石で覆われていて、その数は推定223万個、総量2,784トン！

現在の五色塚古墳



五色塚古墳まつりの様子

魅力を多くの人に発信するために、イベントを毎年開催しているよ！



春の古墳まつりの様子(主催: NPO法人舞かすみが丘) 普段は入れない古墳のテラスを歩いて回れます。

楽しみだわ！



2026年春、古墳の北側に展望テラスを備えた古墳をより詳しく学べるガイダンス施設が完成予定！

